

FRONTEOヘルスケア、日本転倒予防学会 第5回学術集会にてセミナー講演およびブース出展し、人工知能を用いた「転倒転落予測システム(仮称)」を紹介

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏）の子会社で、人工知能による医療・介護等の情報解析ソリューションを提供する株式会社FRONTEOヘルスケア（東京都港区、代表取締役社長：西川久仁子）は、2018年10月6日～7日に静岡県浜松市で開催された『日本転倒予防学会 第5回学術集会』でセミナー講演とブース出展を行い、ヘルスケア・インダストリー向けに開発した人工知能「Concept Encoder（コンセプトエンコーダー、特許第6346367号）」を用いた「転倒転落予測システム（仮称）」（以下、本システム）を紹介しましたのでお知らせします。

日本転倒予防学会 第5回学術集会

<http://jsfp2018.umin.ne.jp/index.html>

日本転倒予防学会は、超高齢社会を迎える日本における、医学的・社会的な重要課題のひとつである「高齢者の転倒事故」の予防活動推進のため、2004年に発足した「転倒予防医学研究会」の学術的成果と社会的実績を基盤として、2014年に設立された学会です（注1）。

第5回学術集会のテーマは「多職種で奏でる新たな転倒予防のハーモニー」で、医療や介護のみならず、栄養、建築、法律、保険等、転倒予防に関わる多種多様な分野の参加者が、情報交換をしてネットワークを広げ、転倒予防の新たな取り組みを見出すなど、有機的な発展を目指す会議として開催されました。

本学術集会において、FRONTEOヘルスケアは7日にスポンサードセミナー（当社、エーザイ株式会社共催）を開催し、当社研究・解析部サイエンティフィックフェローの内山秀文が「看護記録解析に基づくAI転倒転落予測システム」と題して講演を行いました。

また、FRONTEOヘルスケアは同日、企業ブースも出展しました。ブースには講演を聴いて本システムに興味を持った多数の参加者にお越しいただき、幅広い職種の方々と活発なディスカッションを行う貴重な機会となりました。

本システムは、電子カルテに書き込まれる日々の看護記録をConcept Encoderで解析し、転倒転落リスクスコアを自動的に算出して医療スタッフに提示するシステムです。医療スタッフが毎日手作業でおこなっている転倒転落リスク患者のスクリーニングやリスクアセスメントの業務負担を、人工知能のサポートにより軽減しつつ、高い精度で転倒転落リスクを予測し適切なケアにつなげる目的で開発が進められています（注2）。つまり本システムは、「人工知能」が「多職種の新たな一員」として現場で活躍していく第一歩となることを目指しています。

FRONTEOヘルスケアは、Concept Encoderを軸とした情報解析ソリューションの創造と提供により、引き続きヘルスケア・インダストリー全体の発展に貢献してまいります。

注 1：日本転倒予防学会

<http://www.tentouyobou.jp/1.html>

注 2：FRONTEO ヘルスケア、「人工知能のアプリケーション「転倒転落予測システム（仮称）」実証実験版が完成」

<https://www.fronteo-healthcare.com/news/2018/08/press20180808>

【Concept Encoder について】 URL: <https://www.fronteo-healthcare.com/conceptencoder>

Concept Encoder（コンセプトエンコーダー）は、FRONTEO ヘルスケアがヘルスケア・インダストリーに特化して開発した人工知能（AI）です。自由記述のテキストデータを大量に含むヘルスケア関連のビッグデータを、エビデンス（根拠）に基づいて有効に解析・活用することを目標に開発しました。ヘルスケア従事者の共通認識である「エビデンスに基づいた医療（EBM）」に欠かせない有意差検定などの統計学的手法を自然言語解析に導入、実現しています。Concept Encoder はテキスト以外のデータとの共解析も可能であり、ヘルスケア領域に蓄積されてきた遺伝子発現情報・バイタルや各種検査値などの「数値データ」との共解析の研究を進めています。特許登録番号：特許第 6 3 4 6 3 6 7 号

【FRONTEO ヘルスケア 会社概要】 URL: <http://www.fronteo-healthcare.com/>

名称： 株式会社 FRONTEO ヘルスケア

設立： 2015 年 4 月 16 日

資本金： 327,000 千円（資本準備金 210,000 千円含まず）

代表者： 代表取締役社長 西川 久仁子

事業内容： 診断支援、ヘルスケア業務支援、製薬業界支援、その他医療・介護等の情報解析に関する事業

【FRONTEO について】 URL: <http://www.fronteo.com/>

株式会社 FRONTEO は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ（電子証拠開示）や、デジタルフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年 8 月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Liti View（リット・アイ・ビュー）」、日・中・韓・英の複数言語に対応した「Predictive Coding（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。このリーガル事業で培われ、発展した「KIBIT」を始めとする独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現します。ヘルスケアやビジネスインテリジェンス、デジタルマーケティングなどの領域に展開し、FinTech や RegTech に加え、「働き方改革」でも実績をあげています。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ、2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 2,507,346 千円（2018 年 3 月 31 日現在）。2016 年 7 月 1 日付けで株式会社 UBIC より現在の社名に変更しております。

<ヘルスケア案件に関するお問合せ先>

株式会社 FRONTEO ヘルスケア 広報担当

TEL 03-5463-6330 FAX 03-5463-7578 Email: inquiry@fronteo-healthcare.com

<報道関係者のお問合せ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当 池内、水口

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345 Email: pr_contact@fronteo.com